小枝のキーホルダーづくり

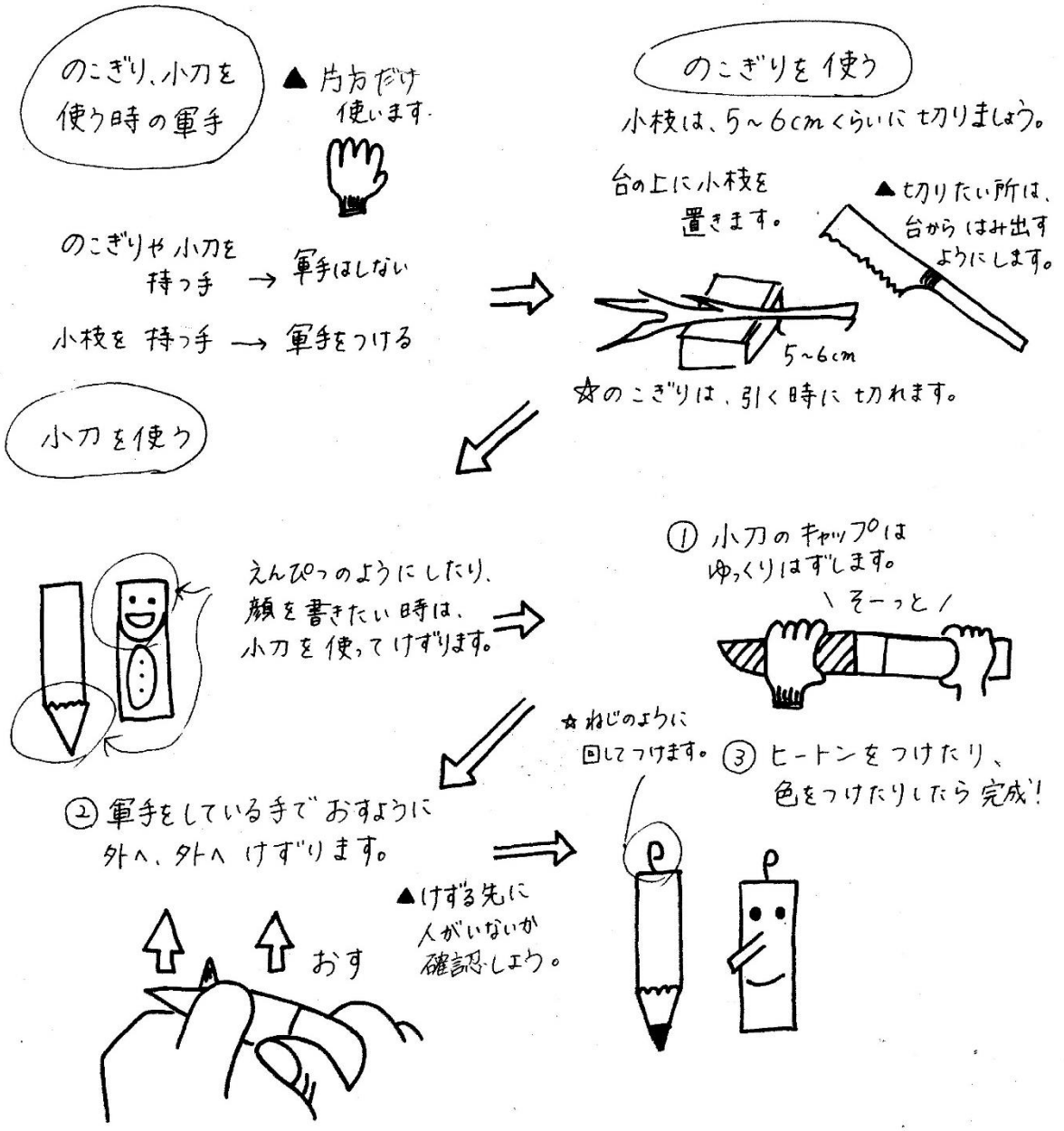
活 動 場 所	実習棟、プレイルーム	自然の家に あるもの	ボールチェーン、ストラップ、ヒートン、活動眼(以上、有料) 小刀、のこぎり、ブルーシート
所 要 時 間	１～１．５時間		
人　　数	制限なし	利用者で 用意するもの	ペン、木工用ボンド、周辺で取ってきた木の枝、軍手、ポスターカラー、新聞紙

自然の家は山に囲まれ、周辺にはたくさんの木の枝が落ちています。その木の枝を使って、オリジナルキーホルダーを作りましょう。長いものはのこぎりを使って小さくしたり、小刀で先を削ったりすることで顔を書いたり、えんぴつのようにすることができます。

生徒用ページ

小枝のキーホルダー

のこぎりや小刀を使ってオリジナルキーホルダーを作ろう！



特に大切なこと

① 軍手は片方の手だけにつけましょう。

② 小刀を使うときは周りに気をつけて使いましょう。

③小刀はキャップと小刀本体の番号が合っているか確認して、同じ番号の箱に片づけましょう。

１. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・材料や加工の特性等の原理・法則と、技術に込められた問題解決の工夫について考える。	技術・家庭	「材料の加工の技術」
・木材や枝、葉などを加工し自然にあるものの素晴らしさを理解するとともに、森について興味を持ち、調べることができる。	総合的な学習	「環境」

２. ポイント

ア）活動前

・ 事前に学校や家の周辺で枝を探して、持って来ることもできる。
・ ヒートンや活動眼、ボールチェーン等を使う場合は事前に注文する。
・ ポスターカラーやボンドなどは各団体で用意する。
・ のこぎりや小刀を使うので、軍手が必要。
・ プレイルームで活動する際はブルーシートを敷き、ポスターカラーやボンドを使う際は新聞紙を敷く。

イ）活動中

・ 軍手をしっかりとつけているか確認する。
・のこぎりや小刀を持つ際は、道具を持つ手は軍手を外し、逆の手は軍手をつけるように指導する。
・ 刃物を扱うので、ふざけないよう安全指導する。
・ のこぎりは使う場所を決め、必ず指導者がつくようにする。
・ 小刀の使い方は左頁を示して指導する。

ウ）活動後

・ 貸し出したのこぎりや小刀が全て返却されているか確認し、その後所員のチェックを受ける。
・ 小刀は番号がふってあるので、その番号の箱にしっかりと返されているか、キャップと本体の番号が合っているかなどを確認する。
・ 活動が終わったら木くずなどを集める。プレイルームの倉庫にほうきとちりとりがある。ちりとりで集めたゴミはプレイルームわきのゴミ箱へ捨てる。

３. 安全対策について